

三田市・神戸市消防指令業務の共同運用に関する基本構想（案）に対する  
市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方について

1 実施概要及び結果

(1) 実施期間

令和4年10月1日（土）から令和4年10月31日（月）まで

(2) 閲覧方法

- ① 消防本部2階警防課窓口での閲覧
- ② 各市民センター等での閲覧（市内9か所）
- ③ 市ホームページでの閲覧

(3) 意見の提出方法

住所、氏名、電話番号を記入して、持参、郵送、ファクス、電子メールで提出（様式自由）

(4) 意見の件数

8件（4人）

2 意見の内訳

- (1) 出動体制に関する意見・・・3件
  - (2) 危機管理に関する意見・・・2件
  - (3) 人員に関する意見・・・1件
  - (4) 費用に関する意見・・・1件
  - (5) 情報公開に関する意見・・・1件
- 合計・・・8件

### 3 意見の概要及び市の考え方と対応

#### (1) 出動体制に関する意見・・・3件

No.	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
1	<p>昨今の情報システムの進化は目覚ましいものがあり、機器の更新に多額の費用がかかると思われますが、指令業務の共同運用を余儀なくされる時代になりつつあると思います。三田市のような小さな市でも、AIが活躍するような出動システムが稼働する時代が来ると思います。</p> <p>神戸市の救急隊がパンク状態だとの報道を耳にしたことがあります。指令業務を共同運用することで三田市の救急隊が神戸市へ応援出動する機会が増え、三田市民の救急要請に対応できなくなるのではないかと心配しています。神戸市の出動要請ばかりに対応せずに、三田市民の命を守ることを第一優先にしたシステム統合をお願いしたいと思います。</p>	<p>今回の事業は、119通報の着信から出動隊への無線指示までの作業を共同で運用するものであり、消防の現場活動体制に変更はありません。原則として、三田市で発生した事案は三田消防が、神戸市で発生した事案は神戸消防が各々対応します。</p> <p>隣接地域で発生した事案に関しては、現行の「消防相互応援協定」に基づいて、要請があれば、今まで通り応援出動します。指令共同運用による情報一元化で応援出動の迅速性は高まりますが、応援出動の回数に大きく影響を及ぼすものではありません。</p>
2	<p>消防システムの共同運用は結果として消防力の広域化に繋がり、消防職員の労働条件の悪化や過重労働に繋がらないかと懸念しています。</p> <p>市の境界区域については「直近指令*1」や「ゼロ稼働*2」が可能となり易く住民サービスが向上するとしています。この運用は消防隊員の増員が前提であり、現在の消防力で維持するのであれば、消防職員の消耗戦となります。</p> <p>消防職員の労働条件を悪化させないことが市民の命を守ることでありますので政策に反映してください。</p> <p>*1「直近指令」 現場に最先着できる隊に自動で出動指令を行うものをいいます。指令の共同</p>	<p>今回、実施するのは「消防指令業務の共同運用」のみですので、原則として三田市で発生した災害は、三田消防が対応します。</p> <p>また、境界区域で発生した事案についても、「消防相互応援協定」に基づいて出動します。「ゼロ隊運用*3」や「直近指令」の実施は考えておらず、原則は管轄消防対応ですので、いたずらに三田消防が対応する事案数が増加することはないものと考えます。このため、ご懸念のような労働条件の悪化等にはつながらないものと認識しています。</p> <p>*3「ゼロ隊運用」 出動可能な隊がなくなった場合に指令の共同運用をしている他市消防本部の隊に自動で出動指令を行うものをいいます。</p>

	<p>運用を行った場合にあっては、他市消防本部の隊も含めて最先着できる隊を選出できるようになります。</p> <p>*2「ゼロ稼働」 消防本部が用いる*3「ゼロ隊運用」と同義として解釈しています。</p>	
3	<p>神戸市北区への救急要請対応の為、三田市民への対応に遅れがでるのではないかと懸念しています。</p>	<p>今回の事業は119通報の着信から出動隊への無線指示までの作業を共同で運用するものであり、消防の現場活動体制に変更はありません。原則として、三田市で発生した事案は三田消防が、神戸市で発生した事案は神戸消防が各々対応します。</p>

(2) 危機管理に関する意見・・・2件

No.	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
4	<p>神戸の指令センターが機能不全に陥った場合、三田消防がバックアップ体制を維持すると思うが、補助電源等がいかなる状況でも機能するようにシステム機器を構築して頂きたい。</p>	<p>補助電源の強化等、バックアップ体制の維持については、今後整備を検討していきます。また、大規模災害等の非常時には、119通報を三田消防で受信できる体制も整備する予定です。</p>
5	<p>神戸市で大規模な事故や、火災があった場合、神戸市内の通報が集中し、三田からの通報の迅速性が損なわれないように、配慮して頂きたい。</p>	<p>共同運用後も必要な回線数を確保し、ご懸念のような通報が集中する場合でも、対応できる体制を整備します。</p>

(3) 人員に関する意見・・・1件

No.	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
6	<p>共同運用に伴う人員の削減による影響を心配しています。</p>	<p>今回、実施するのは「消防指令業務の共同運用」ですので、消防業務全般への影響はないものと認識しております。</p> <p>共同運用による職員の効率配置により現場職員を充実させ、消防力の維持向上を図ります。</p>

(4)費用に関する意見・・・1件

No.	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
7	システムの導入については一括発注の場合と分離発注や改修で価格が大きく異なる為に自治体の財政上の手腕が問われる問題です。いかに財政負担を軽くして良いシステムを導入するかを考えていただきたい。神戸市と三田市の導入にかかる負担割合については他の自治体でも人口比率やその他を考慮しており折半とはなっていません。	消防指令業務の共同運用は、国が進める消防の連携・協力推進施策に沿った取り組みであるため、国の有利な財政措置の活用が期待できます。 費用負担の按分については、人口等様々な要素を考慮し、按分比率を検討してまいります。

(5)情報公開に関する意見・・・1件

No.	意見の内容（要約）	市の考え方と対応
8	共同指令業務運用準備委員会の会議録（導入費用や契約事業者、運用経費等）や稼働後の共同指令運用委員会の議事録、経費負担の情報について市民からの情報公開に応じることも必要です。	三田市情報公開条例に基づいて適切に対応します。

#### 4 その他（意見募集の際に質問され回答した内容）

質問数・・・7件

No.	質問	回答 (既に回答済み)
1	「広報さんだ」や「構想（案）」によると、神戸市との指令業務の共同運用は既定事項（決定済の事項）のように思われますが、この認識で間違いはないですか。	神戸市との指令業務の共同運用は決定済みではありません。共同運用の実現に向けて検討を進めています。
2	指令共同運用の相手先が神戸市となった経緯を教えてください。地勢的に見れば、宝塚市、三木市や丹波篠山市の方が類似していると思います。	三田市と北神地域は地理的、歴史的に生活圏、医療圏としてのつながりが深く、隣接地域は両市民の行き来が盛んなこととあわせて、三田市と神戸市の消防指令システムの更新予定時期が近いことが指令共同運用の相手先として選択した理由です。

		宝塚市、三木市とは更新予定時期が合わず、丹波篠山市とは共同運用を検討していましたが実現しませんでした。
3	現状で三田市職員の神戸市への出向、あるいは両市職員の交流はあるのか。	両市職員が現場活動や訓練、会議を通じて交流する場面はありますが、令和4年11月現在、三田市職員の神戸市への派遣といった出向は実施しておりません。
4	辺鄙（へんぴ）なところ、山中、番地不明の民家、目標物もないような場所を特定するのはどのような方法をとっていますか。インターネットの地図だけで場所を特定するのは難しくありませんか。	通報者が場所を明確に伝えられない場合などは、携帯電話のGPS情報や地図情報等のツールを活用し、その場所に辿り着くまでの経路の確認や通報者と分かりやすい場所で落ち合い誘導してもらうなど、通報者の持つ情報を最大限に引き出し、現場を特定します。
5	携帯電話やスマートフォンでの市境からの通報について、三田市内からの通報か、他市からの通報か区別できますか。	通報した携帯電話やスマートフォンのGPS情報や通報者との会話で得た情報で、三田市か他市の区別はできます。
6	共同運用開始前後で、通報から出動までの所要時間にロスが発生しますか。  「所要時間のロスについては、三田市に指令室があれば119通報が入った段階で出動隊員が認識できていたが、共同指令センターとなり神戸市に119通報が入ることになれば三田市の消防隊員の出動が遅れるのではないか」といった趣旨の質問をされていたことを後日、質問者に確認しました。	現状、119通報が入るのは三田市消防本部指令室であり、出動隊員は指令放送を聞いて出動態勢を取ります。  共同指令センター運用後も同様で、出動隊員が指令放送を聞くタイミングは現状と変わりません。
7	共同運用にかかるコストについて教えてください。	共同運用にかかる整備費や運営費等のコストについては、どういったものが必要でどのくらいの費用がかかるかといったことを精査しています。費用按分については人口等様々な要素を考慮し、按分比率を両市で検討して参ります。